

ふくしま介護生産性向上支援センター

第2回 福島県 介護生産性向上セミナー

「介護ロボット・ICTの導入に必要な 準備と効果的な活用」

2024. 8. 28 @ Online

社会福祉法人友愛十字会

法人本部事務局 介護生産性向上推進室長

特別養護老人ホーム 友愛荘 施設長

鈴木 健太



自己紹介

鈴木健太

淑徳大学 社会福祉学部 社会福祉学科卒

●看護師 ●福祉用具専門相談員

2008年 砧ホーム 機能訓練指導員

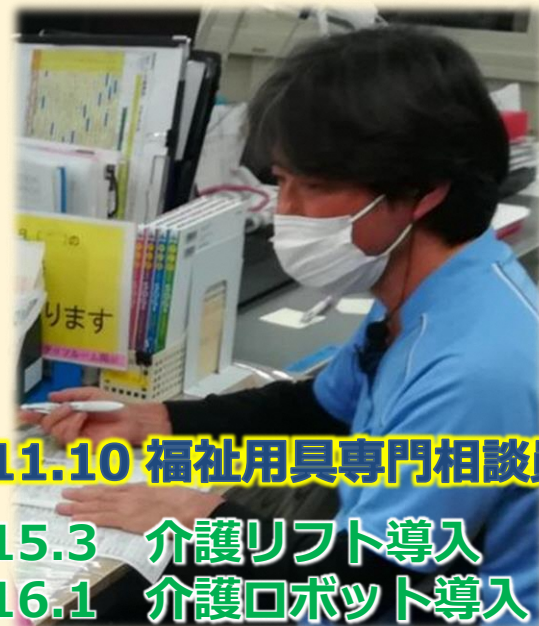
2013年 // 介護主任

2015年 // 介護部長

2017年10月 // 施設長(兼看護師)

2023年 4月 友愛荘 施設長

法人本部事務局 **介護生産性向上推進室長**



2011.10 福祉用具専門相談員

2015.3 介護リフト導入

2016.1 介護ロボット導入

2018.6 ICT記録ソフト導入

2019.12 ICTインカム導入

●東京都 介護現場革新会議 委員

●公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 ロボット・ICT推進委員会 幹事

●社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 デジタル推進委員長

●国立開発研究法人 日本医療研究開発機構 (AMED) 介護ロボットポータルサイト相談窓口アドバイザー

●公益財団法人 テクノエイド協会 「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」モニター調査検討委員会 委員

●公益財団法人 東京都福祉保健財団 次世代介護機器選定委員会 委員

友愛十字会 鈴木健太



本日のお話の内容

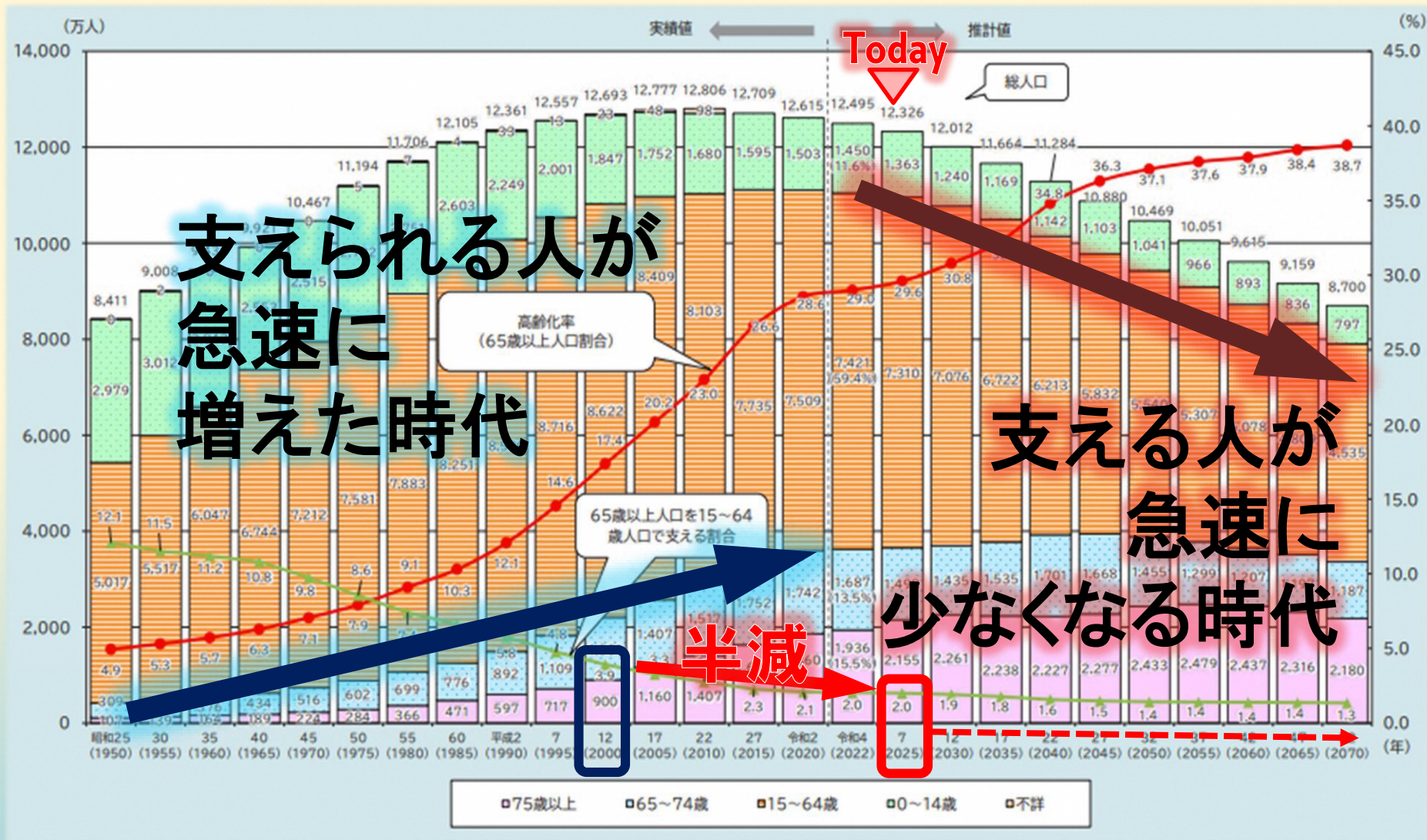
1. ロボット・ICTの活用の背景
2. 活用の要点から学ぶ必要な準備
3. 導入に向けたリテラシーの向上



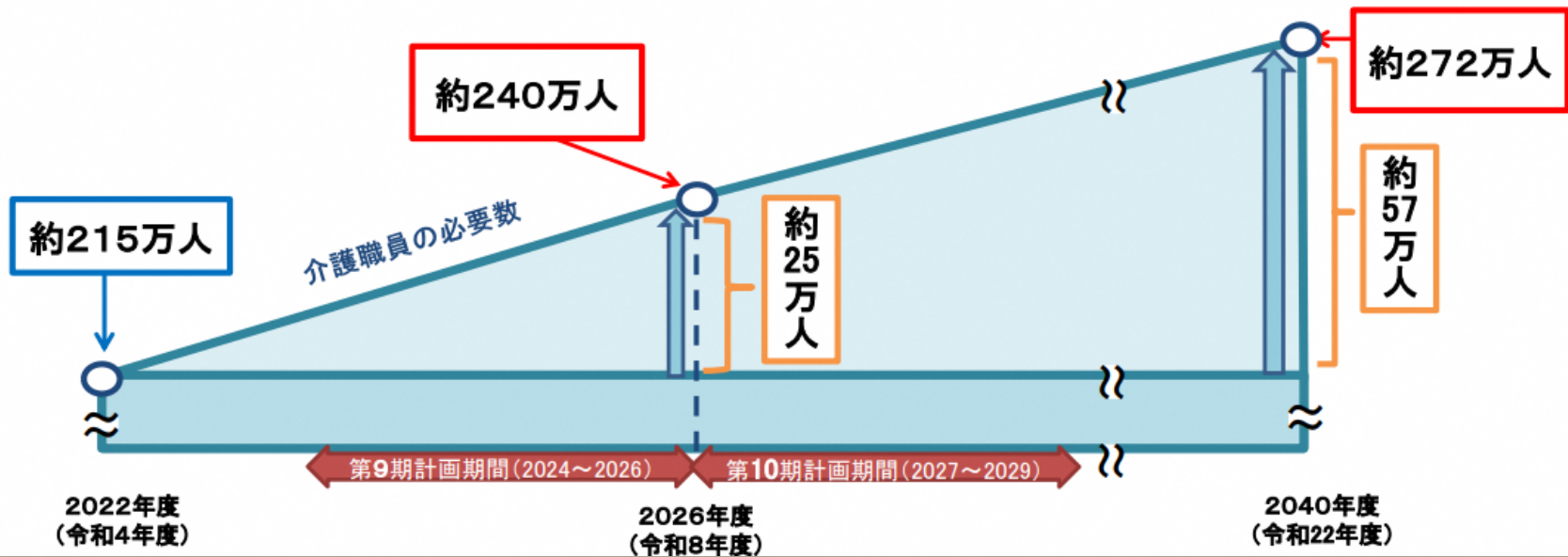
1. ロボット・ICTの活用の背景



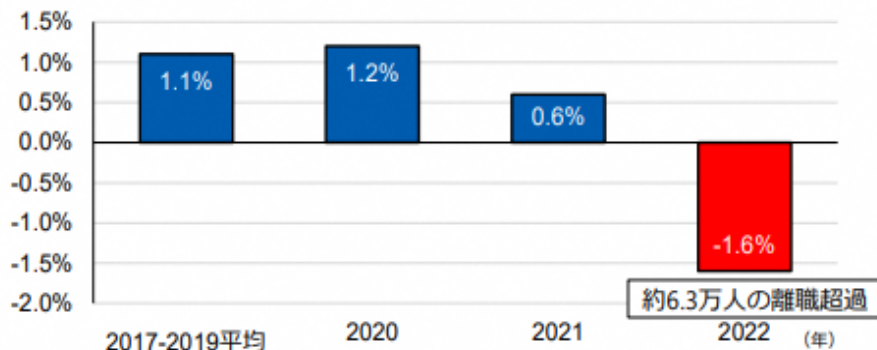
【根源的課題】40年以上続く少子高齢化（生産年齢人口の減少）



【出典】令和5年度版高齢社会白書「高齢化の推移と将来推計」（内閣府HP）より



■ 介護等分野の入職超過率 (入職率 - 離職率) の推移



介護職員は、
増えるどころか
減少に転じていた。

【出典】 上段：第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について（厚生労働省HP）より
下段：介護報酬改定を中心とした介護保険制度をめぐる最新の状況
(厚生労働省 老健局 令和6年3月4日資料)より

感染症に備えるBCP

自然災害に備えるBCP



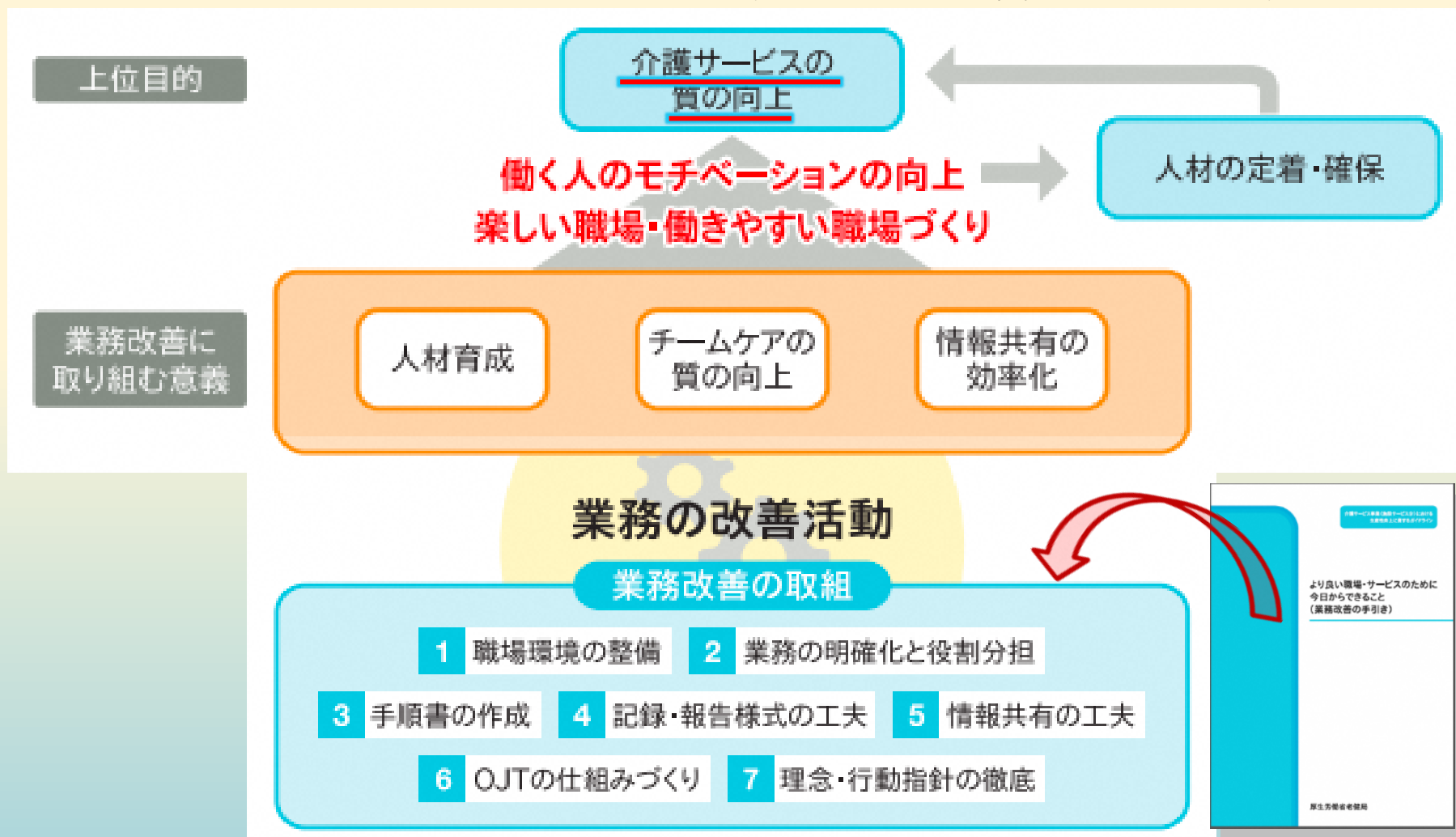
【出典】厚生労働省HPより

担い手不足に備えるBCP



介護サービスにおける業務改善の捉え方

(生産性向上に資する取り組み)



【出典】「介護サービス事業（施設サービス分）における生産性向上に資するガイドラン」より

より良い職場・サービスのために今日からできること（業務改善の手引き） （介護サービス事業（施設サービス分）における生産性向上に資するガイドライン）

[概要]

①職場環境の整備

取組前

取組後



②業務の明確化と役割分担 （１）業務全体の流れを再構築

介護職の業務が
明確化されて
いない



業務を明確化し、
適切な役割分担を
行いケアの質を向上



②業務の明確化と役割分担 （２）テクノロジーの活用

職員の心理的
負担が大きい



職員の心理的
負担を軽減



③手順書の作成

職員によって異なる
申し送り



申し送りを
標準化



④記録・報告様式の工夫

帳票に
何度も転記



タブレット端末や
スマートフォンによる
データ入力（音声入
力含む）とデータ共有

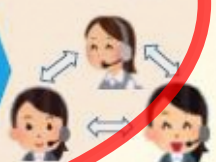


⑤情報共有の工夫

活動している
職員に対して
それぞれ指示



インカムを利用した
タイムリーな
情報共有



⑥OJTの仕組みづくり

職員の教え方に
ブレがある



教育内容と
指導方法を統一



⑦理念・行動指針の徹底

イレギュラーな
事態が起こると
職員が自身で
判断できない



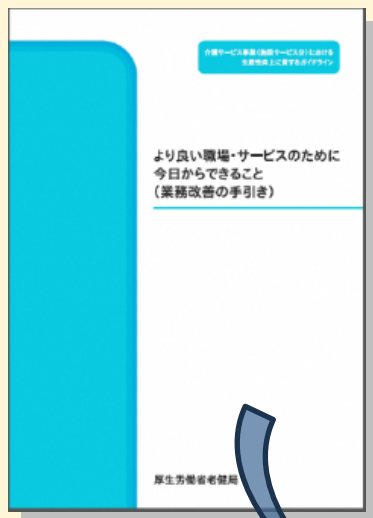
組織の理念や行動
指針に基づいた
自律的な行動



【出典】「介護サービス事業（施設サービス分）における生産性向上に資するガイドライン」より

2. 活用の要点から学ぶ必要な準備





実機の試用は、単に機器の使い勝手をみて終わるのではなく、①「どうすれば使いづらい部分が解決できるのか」を検討し、②「その使いづらさが解決できれば導入の選択肢となるのか」まで思案することで、最適な機器選定を実現し、組織の活用力を養う機会としたい。



2. 業務の明確化と役割分担

(2) テクノロジーの活用

取組のステップとポイント

① 導入チームや担当者を決めよう

テクノロジーを導入する際には、まとまった期間が必要になります。導入を着実に進めていけるよう、初めに導入体制を整えましょう。チームを結成し担当者を決めることが肝要です。また、導入の途中には他の職員を巻き込んでいく必要があるので、できる限り経営陣や管理者にもチームに入ってもらいます。

② 課題とロボットをマッチングさせよう

テクノロジーを絞り込む時は、可能な限り実機を事前に取り寄せて試しに使うことをお勧めします。「インテリジェント」や「自律型」などの言葉だけでは分かりにくい「大きさ」や「使い勝手」を知ることができるからです。期間に余裕があれば、同じ分野で複数の機器を試してみましょう。

③ 活用計画を立てよう

導入するテクノロジーが決まったら導入計画を立てます。一斉に導入するような計画は上手くいきません。チームで相談し合って、導入しやすい時間帯や場所を決め小さく始めることがコツです。まずは、小さな改善事例を作ってみましょう。

④ しつこく使ってみよう

テクノロジーを上手く使いこなすには慣れが必要です。そのため、しつこく使い続けることが大切です。そのうち、「こういう使い方がいいな」とわかってきます。それまでは、職員間で情報交換したり、メーカーや福祉用具等を普及する機関等に相談しながら使い続けてください。また、導入チームは使った人から「使い続けるための工夫やコツ」を広く求めて、施設独自の活用マニュアルに反映していきます。

【出典】「介護サービス事業（施設サービス分）における生産性向上に資するガイドライン」より

見守り支援機器 選定の留意点

見守属性

何を見守るのか？

安全系

バイタル系



メリット

何が期待できるか？

事故防止
自立支援

自立支援
(事故防止)

通信環境

機器の選定より重要！

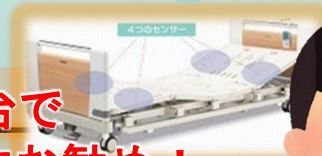
ナースコール経由

Wi-Fi経由(画像)

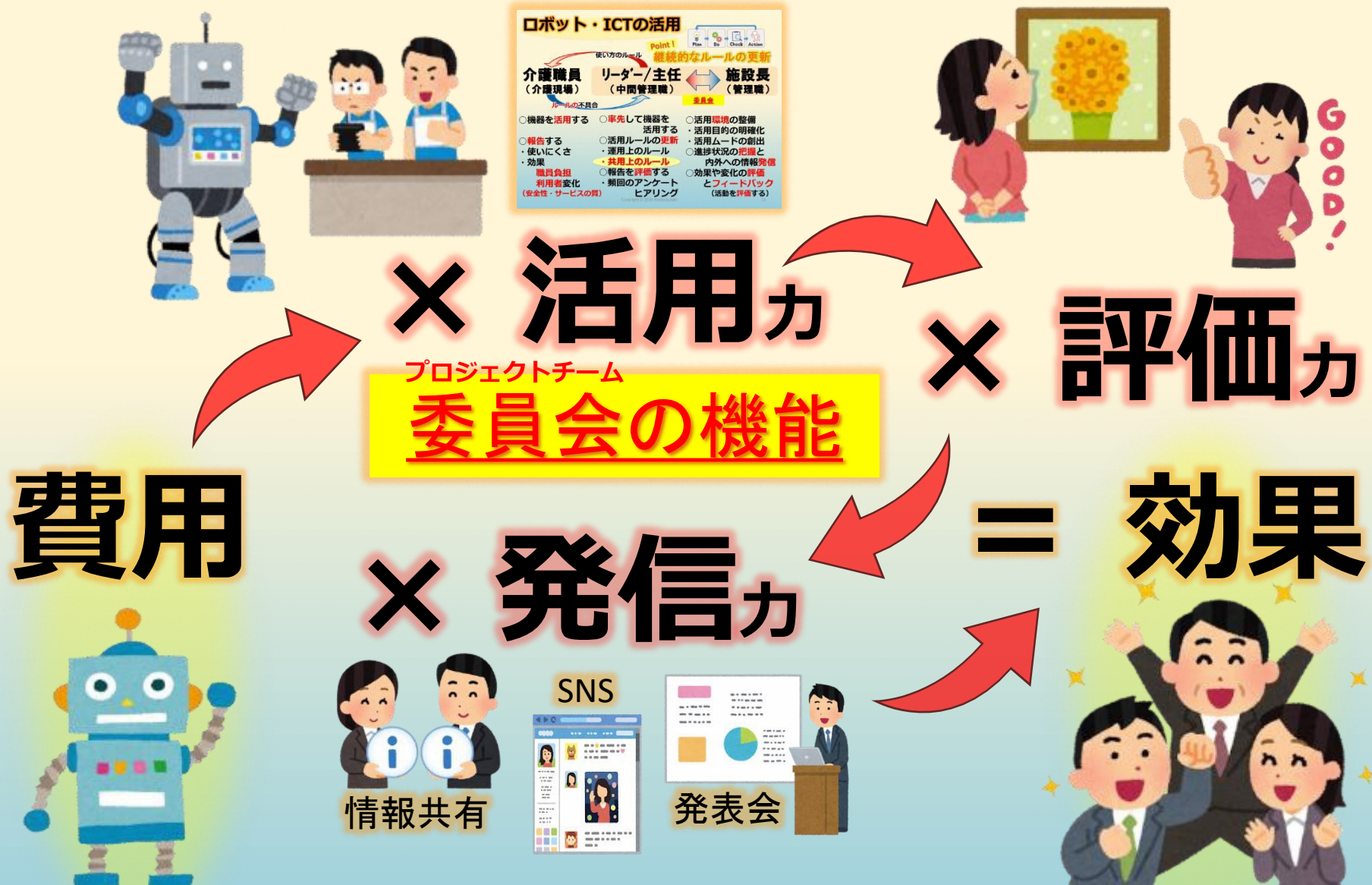
Wi-Fi経由

LAN経由

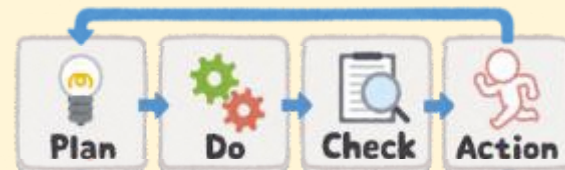
とりあえず1台で
加算Ⅱ取得にお勧め！



「費用」対「効果」の方程式



1) 活用力



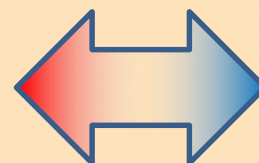
Point!

継続的なルールの更新

介護職員
(介護現場)

使い方のルール

リーダー/主任
(中間管理職)



施設長
(管理職)

プロジェクトチーム

委員会

ルールの不具合

○機器を**活用**する

○**報告**する

- ・使いにくさ
- ・効果

職員負担

利用者変化

(安全性・サービスの質)

○**率先**して機器を
活用する

○活用ルールの**更新**

- ・運用上のルール

・**共用上のルール**

○報告を**評価**する

- ・頻回のアンケート
ヒアリング

○活用**環境**の整備

- ・活用目的の明確化
- ・活用ムードの創出

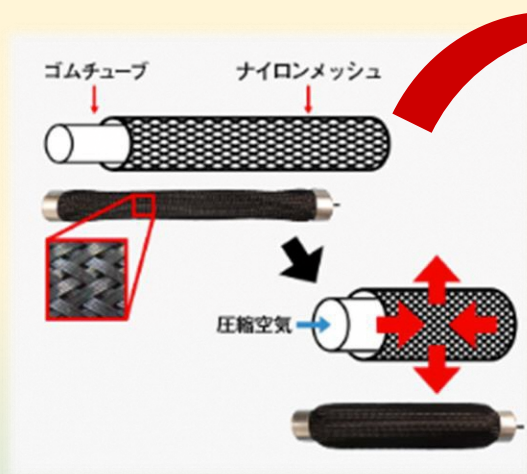
○進捗状況の**把握**と
内外への情報**発信**

○効果や変化の**評価**

と**フィードバック**
(活動を**評価**する)

機能の本質に辿り着く前の葛藤

テクノロジー



【出典】株式会社 イノフィス
HPより

・滑らかでイメージ
しやすい補助力

UX

介護現場の反応

- ・装着に時間が掛かる
- ・使いたい時にない
- ・エアポンプが落ちる
- ・ポケットが使えない
- ・汚れが気になる

UIの壁？



【写真】砧ホームより

共用上のルールが活用を促進させる

使い方のルール

- ・使用後はベルトを緩める
- ・動線を考えて配置する
- ・エアポンプに輪ゴムを巻く
- ・ウェストポーチを準備する
- ・使用後に消毒、消臭する



- ・滑らかでイメージしやすい補助力

UX

介護現場の反応

- ・装着に時間が掛かる
- ・使いたい時にない
- ・エアポンプが落ちる
- ・ポケットが使えない
- ・汚れが気になる

UIの壁？



【写真】砧ホームより

2) 評価力

良い変化は
すぐに常態化して
当たり前になってしまう。



Point !

KPI※を設定し、導入前の状況を忘れずに残す！

良い変化を(定期的に)収集する！



※KPI・・・Key Performance Indicatorの略

「目標を達成するために必要な各プロセスを

どのくらい達成できているか計測し、

評価するための指標」

3) 発信力（共有力）



良い変化を
共有することで実感を促し、
発信することで強化される。

Point !

内部での共有によるモチベーション向上！

外部への発信によるブランド確立！



効果 は、

あるものではなく

出すものである。



By 鈴木 健太

3. 導入に向けたリテラシーの向上



管理者と現場介護職員の温度差

と必要なアプローチ

ふくしま介護生産性向上支援センター

7月16日相談窓口OPEN

ふくしま介護生産性向上支援センター 業務のご紹介

各種ご相談への対応

生産性向上や業務改善に関するご相談に対応させていただきます。必要に応じて、専門家や関係機関と連携して対応いたします。

期 2024.7.16~2025.3.31

相談費用 無料

受付時間 平日9:00~17:00

相談方法 電話/メール/WEBなど

介護ロボットやICT機器の展示・体験

介護ロボットは実際に触ってみて、体験してご価値が分かります。今年は「排泄」「入浴」に関連した製品を集中展示！出張相談窓口も設けますので、お気軽にご来場ください。

開催日 2024.9.27(金), 28(土)

※ダイカクリエーションふくしま2024内で開催します

ICT機器・介護ロボットの試用貸出

機器の導入に向け、実際に使用してみたいと考えておられる場合はこちらをご活用ください。

※貸出機器については、公益財団法人テクノエイド協会ホームページ「介護ロボットの試用貸出」をご参照ください。

受付期間 2024.8.1~2025.1.31

貸出費用 無料 連絡先 024-954-4035 (土日祝・年末年始は除く)

生産性向上セミナー

介護現場における生産性向上について、どうやって取り組んでいくのか、そもそも何をしたらいいのか等、分かりやすい内容で実施します。詳細はセンターHPをチェック！

お問合せ先 ふくしま介護生産性向上支援センター

TEL: 024-954-4035

WEB: <https://fmdsc.jp/>

MAIL: soudan.center@fmdipa.or.jp



介護施設

これまでのアプローチ

外殻型

管理者層

視点：外
情報：多

現場の介護職員

視点：内

情報：少

リーダー層

視点：内
情報：少



【現場理解】

【教育・理念・専門性】

内発的動機付け

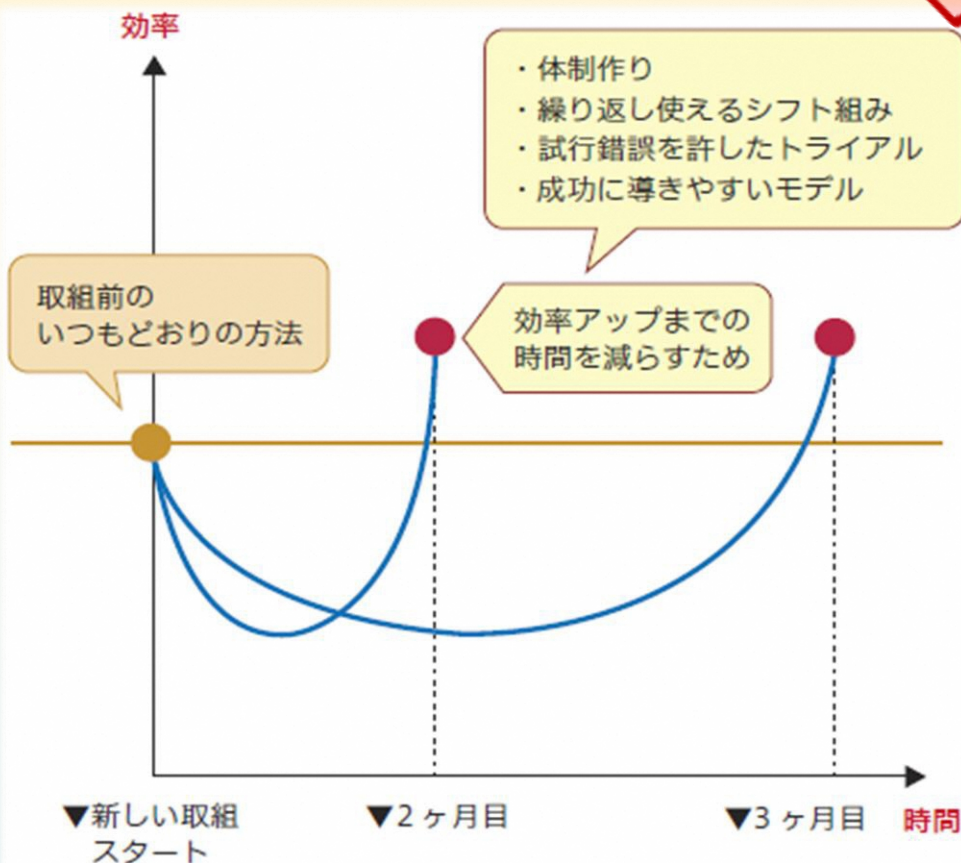
内核型

これから必要な
アプローチ

ロボット・ICT活用の基礎的理解



U字の法則



介護サービス事業（施設サービス分）における生産性向上に資するガイドライン

より良い職場・サービスのために
今日からできること
(業務改善の手引き)

厚生労働省老健局

【出典】「介護サービス事業（施設サービス分）における生産性向上に資するガイドライン」（厚生労働省HP）より

『活用理念』による内発的動機付け

人類の営みは、
道具によって進化してきた…。



We are humans, not monkeys.

“介護”という営みも、


道具によって進化する。



砧ホーム 介護部

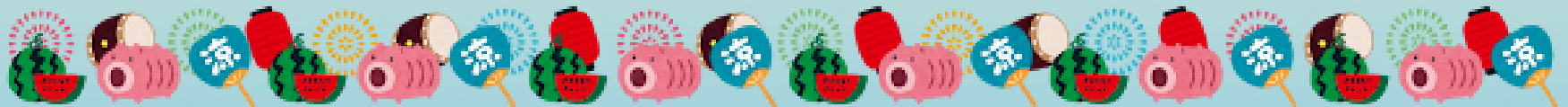
『専門性』による内発的動機付け



『医療に医療機器があるように、福祉に福祉用具があって、それらを使いこなすのは当然それぞれ専門職の専門性である。』

砧ホーム 介護部

1. ロボット・ICTの活用の背景
2. 活用の要点から学ぶ必要な準備
3. 導入に向けたリテラシーの向上



ふくしまから！
新時代の介護を
切り拓きましょう。



介護ロボット導入・活用セミナー
(名古屋市/なごや福祉用具プラザ)

YouTube

介護分野における生産性向上推進
全国フォーラム (厚生労働省)

